

新しい年 安心して暮らせる区政を どいっしょに 日本共産党



新春をどのようにお迎えでしょうか。
日本共産党は、より安心して暮らせる足立区をめざし、今年もみなさんどいっしょにがんばります。
いま小泉流「構造改革」のもとで景気はいっそう悪くなり、失業も中小企業の倒産も史上最悪。また都の福祉・医療きりすての政治で、住民はくらしの痛みと不安をつのらせています。
こうした時だからこそ、その痛みをやわらげ、区民のくらしと営業を守る区政が求められています。
日本共産党は、区財政は黒字で区民の願いに応えられる余力は十分あることを繰り返し明らかにし、予算修正や条例案など具体的な提案を行い、がんばってきました。
新年を希望ある年にするため、日本共産党へのなおいっそうのご支援ご協力をお願いします。

日暮里・舎人線

「一日も早い開業を」
の意見書、
全会一致で採択

足立区議会は、東京都日暮里・舎人線の開業時期を一方的に四年先送りにしたことに、十二月三十一日これに抗議し一日も早い開業を求める意見書を全会一致で可決し、都に提出しました。

今年も決意あらたにがんばります



鈴木 けんいち

《自宅》
足立区保木間
1(一三二)八四〇三
1(一三八六〇)六三九〇



村田 晃一

《自宅》
足立区保木間
1(一三七四)四〇六
1(一三八八四)九六一一



さとう 純子

《自宅》
足立区江北七三三
1(一五六九)一五九五五



ぬかが 和子

《自宅》
足立区伊興一五三
1(一三八五四)七一五七



伊藤 和彦

《自宅》
足立区花畑六七一三
1(一三八五九)六九五二



鈴木 秀三郎

《自宅》
足立区日ノ出町
二七三三一一三〇
1(一三八八)三三九三



今井 重利

《自宅》
足立区東和三三三
1(一三六〇六)七二六四



小野 実

《自宅》
足立区梅島一三三
1(一三八四九)〇二二三



橋本 ミチ子

《自宅》
足立区梅田六一四二
1(一三八八六)七三三二



渡辺 修次

《自宅》
足立区佐野
二一六〇一〇四
1(一三六〇五)七六六六



針谷 みきお

《自宅》
足立区入谷三二五
1(一三八五三)二二〇七



大島 芳江

《自宅》
足立区千住桜木
二一七二二〇三
1(一三八七)三九二二



都議会議員
渡辺 やすのぶ

《事務所》
足立区千住亀田町八一
1(一三八八一)一八七〇

日本共産党

足立区議団ニュース

発行所
日本共産党足立区議団
足立区中央本町1-17-1
足立区役所内
発行責任者 大島芳江
編集責任者 伊藤和彦

みなさんのご意見をおよせ下さい

区議団 TEL 03-3880-5770 FAX 03-3880-5682

足立区議団メールアドレス acmp@blue.ocn.ne.jp

日本共産党のホームページ http://www.jcp.or.jp

2001年第4回定例区議会報告

子どもたちのために 学校修繕は緊急の課題です



区立10中昇降口ひさし（12月17日・視察時に撮影）

日本共産党は12月議会で、学校修繕問題を取り上げ本会議で鈴木けんいち議員が質問、区教育委員会に緊急対応をもとめました。

これに対し自民、公明、民主、ネットがこの質問の一部削除を求め、不当な問責決議を強行しました。

危険性指摘し、改善促進を要求

日本共産党

毎年五月から六月にかけて、区立の小中学校・幼稚園から区の教育委員会に提出される「施設点検調査表」には、「昨年屋上出入口のコンクリートが剥離（はくり）」「中央階段ひさしコンクリート落下が心配」「給食室にカビ、結露」「便所のおいやドアの破損」など、すぐに修繕が必要と思われる状況が数多く書かれています。

許せるでしょうか
「事実無根」と発言の削除、
不当な問責決議の強行

この調査表では区内小・中学校百十四校中、外壁のひび割れや剥離が五十二校、雨もりや、トイレの改修・臭気対策が必要が各五十二校、給食室の改善を求める学校は四十五校も指摘されています。

区の調査表への回答は、「外壁の剥離は」数が多いため、施設課で調査ができない状況（給食室の改修は）「順番待ち」などというのが現状です。日本共産党は実態調査も行い、予

この質問に対して、公明党議員から、「もしそうであるならば、大変な行政の責任になる」「調査し区民に公表すべき」との主旨の動議が出され、全会一致で可決されました。

調査がゆだねられた文教委員会では、教育委員会が提出した資料で、「外壁がはがれ落ちそうでもし子どもに当たったら命にかかわる」「雨水がたまり湖のようになる」という質問のような学校は「無」と報告されました。

わが党は施設点検調査表にもとづく資料を提出したにもかかわらず、委員長は、現地調査もせず「調査不能」と議長に報告しました。

その後議長が各派幹事長などとともに三校を調査し、雨どいが傾いて落ちそうな状況や、コンクリートが剥離落下した状況（上・写真）を確認しました。

ところが議長は「質問

にあるような事実は確認できなかった」と議会で報告しました。これをうけ民主党から、発言の削除を求める動議が出され、さらに自民、公明、民主、ネットの賛成多数で問責決議が強行されました。

問責決議の内容は「個人の推測に基づく発言、もしくは不十分な調査による発言に関し、今後二度とこのような事実無根の発言はされないよう猛省を促す」というものです。

しかし、学校施設を見てその危険性を指摘したことを、「事実無根」ときめつけて、発言を削除し「猛省を促す」とは、修繕の緊急性を否定し、区教委の責任を免罪にするものです。

いま議会として必要なことは、学校修繕予算を増やし、安心して学べる教育環境を一日も早くつくることではないでしょうか。

日本共産党はひきつづき、子どもたちの命を守り、よりよい教育環境を整備させるためにがんばります。

区民の願いとりあげ奮闘

介護

日本共産党は、鈴木区政が削った区民施策の復活を要求しました。また、東京都が1月から実施する介護保険利用料の軽減策は、区が実施しなければ実行されないと指摘し、足立区での実施を促すとともに事業者負担分への支援も求めました。

子育て

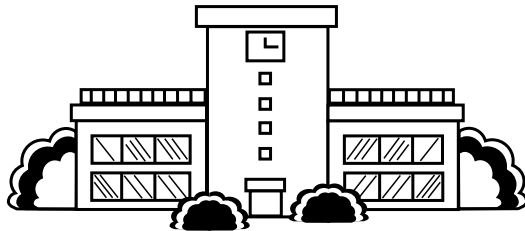
保育園、学童保育の待機児解消は待ったなしの課題であり、緊急に対応すべきと要求しました。

業者支援

区内業者の仕事確保、良好な住宅維持、地域経済の活性化につながる住宅リフォーム助成事業は、縮小・凍結するのではなく、予算を確保・増額して継続すべきと求めました。

産業振興

産業振興を区政の柱にするよう要求。区は職員による緊急実態調査を行なうことや、施策を総合的に推進するため「産業経済部」をつくることなどの検討を約束しました。



学校等施設点検調査表より

学校名	学校側の記入欄	区教委の記入欄
10中	〔外壁＝校舎〕 壁が剥がれ落ちて危険である。	落ちそうな所は学校予算で落としてもらって、補修は外装工事待ち。
13中	〔屋根＝4F1・5トイレ前〕 廊下天井より雨漏りあり屋上から漏れてくるもよう、修理したが、まだ雨漏りがする。	検討中
西新井中	〔構造＝ほとんど全部〕 教室の床が傷みやすく一部広範に欠落部分がある。	様子を見る
	〔外壁＝ほぼ北・西側全面〕 はがれ落ち多数あり。	計画事業のため 当分先送りとなる。

注・この調査表は公開されており、区に請求すれば誰でも見ることができます。